

# 菊池米で新酒造りへ

## 「美少年」が農家と売買契約

新酒造りで連携する左から緒方義行  
 ・出荷者組合長、千堂敬一郎・美少年社長、岩崎良美・さらり水源村理事長、後藤定・水源地区長 菊池市



菊池市の酒造会社「美少年」(千堂敬一郎社長)は29日、菊池米を使った新酒造りに向けてNPO法人「さらり水源村」(岩崎良美理事長)とコメの売買契約を結んだ。本年度は同法人が委託する契約農家23戸から約24トを買収する。

同社は火の国酒造から福岡市の健康食品・化粧品製造会社が事業を継承し、昨年、菊池市の旧水源小跡で営業を始めた。

同市の水源、河原、迫間の3地区で栽培されたヒノヒカリの減農

薬米を同法人を通して60キロ当たり1万5500円で買い取る。11月に仕込みを始め、純米酒の清夜(720ミリリットル1134円)、純米吟醸酒の剣門(同1296円)として来年1月に売り出す。

買い取る量は将来、48トまで増やす。千堂社長(51)は「菊池米で酒を造るのが目標だった。地域に貢献できる酒蔵にしたい」。出荷者組合の緒方義行組合長(66)は「期待に応えられるコメを育てたい」と話した。

(佐藤公亮)